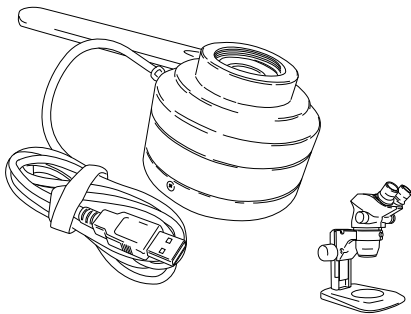


WiFi 接続デジタル顕微鏡アダプタ

3R-WDKMC05

取扱説明書



この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品を安全にご使用いただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みいただいた後も必要な時に確認いただけるようお手元に保管しておいてください。



| | |
|--|----|
| 安全上のご注意 | 1 |
| 電波法に関する注意事項 | 2 |
| 製品内容 | 3 |
| 顕微鏡への取り付け | 4 |
| 【Windows】使用する | |
| Anyty microscope adapter のインストール (初回のみ) | 6 |
| USB 接続で使用する | 9 |
| WiFi 接続で使用する | 10 |
| Anyty microscope adapter の起動 | 13 |
| 【Windows】基本操作 | |
| 静止画を保存する | 14 |
| タイマー撮影をする | 14 |
| 動画を保存する | 15 |
| 【Windows】各種設定 | |
| モード設定 [顕微鏡 / 照明 / 解像度] | 16 |
| デバイス設定 | 17 |
| 計測機能 [キャリブレーション] | 19 |
| 計測機能 [計測ツール] | 20 |
| 【Windows】その他の機能 | |
| ツールバーの機能 | 21 |
| メニューバーについて | 24 |
| 深度合成 ※64 ビット OS のみ | 26 |
| 画像合成 ※64 ビット OS のみ | 28 |
| 【iOS/Android 端末】での使用 | |
| WiFi モードで起動する | 30 |
| アプリ「Anyty WiFi Adapter Plus」のインストール (初回のみ) | 31 |
| 「Anyty WiFi Adapter Plus」を起動し接続する | 32 |
| 【iOS/Android 端末】基本操作 | |
| 静止画を保存する | 34 |
| 動画を保存する | 34 |
| 映像を反転する | 35 |
| 映像を回転する | 35 |
| 保存した静止画、動画を確認する | 35 |
| 【iOS/Android 端末】その他機能 | |
| 映像表示画面のアイコンについて | 37 |
| トップ画面について | 39 |
| 【iOS/Android 端末】各種設定 | |
| 顕微鏡種類 / (照明) / 解像度の設定 | 40 |
| 各パラメーターの設定 | 41 |
| キャリブレーション | 42 |
| スケールバーの設定 | 43 |
| お手入れ・保管・廃棄方法 | 44 |
| 故障かな?と思ったら | 44 |
| 動作要件 | 46 |
| 製品仕様 | 47 |
| 3R保証規定・保証書 | 巻末 |



安全上のご注意







- お使いになる前に必ずお読みください。







※ここに示した内容は、製品を安全に正しくご使用いただき、使用者や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するためのものです。

- 文中の表示について

| | |
|---|--|
|  警告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または負傷を負うことが想定されることを示します。 |
|  注意 | 誤った取り扱いをすると、人が障害を負う、または物的損害の発生が想定されることを示します。 |






| | |
|---------|---|
| 絵表示について |  禁止 ：してはいけないことを示します。 (例：分解禁止) |
| |  指示 ：必ず行っていただきたいことを示します。 (例：コンセントから抜く) |

|  警告 | |
|---|---|
|  | ●製品付属のレンズを太陽光や強い光に向けた状態で覗き込んだりしないでください。使用者の視力に障害を及ぼす原因となります。 |
|  | ●ACアダプタは必ず本製品に添付のものをお使いください。火災、感電、故障の原因となります。 |
|  | ●本製品の通風孔などから内部に、金属類や燃えやすいもの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。万一、異物が入った場合は、すぐに本製品のUSBケーブルを抜いて、巻末の当社お問い合わせ先にご連絡下さい。 |
|  | ●本製品を落下させないでください。落下によって故障の原因となったり、そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。万一、本製品を落としたり破損した場合は、すぐに本製品のUSBケーブルを抜いて、巻末の当社お問い合わせ先にご連絡下さい。 |
|  | ●乳幼児の手の届かない範囲で使用や保管を行ってください。思わぬ事故につながるおそれがあります。 |

|  注意 | |
|--|--|
|  | ●本体を分解・修理・加工・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。 |
|  | ●本体が濡れた状態や、濡れ手で使用しないでください。感電の原因となります。 |
|  | ●本製品の内部や周囲でエアダスターなど可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。 |
|  | ●クーラーや暖房機のそばなど、温度変化の激しい場所に置かないでください。本製品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。 |
|  | ●使用中は本製品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどの原因となることがあります。 |

安全上のご注意（つづき）

注意

-  ●本製品の USB ケーブルは USB 端子に確実に差し込んでください。抜くときは必ずプラグ部分を持って抜いてください。
USB ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
-  ●必ず本製品から USB ケーブルを抜いてお手入れを行ってください。
思わぬ事故や故障の原因となります。
-  ●お手入れでシンナー、ベンジンなどの有機溶剤、クレンザー、金属たわしなどは使用しないでください。
変色・変形・変質のおそれがあります。
-  ●使用、保管の際は以下の環境下で行って下さい。
思わぬ事故、故障、変色・変形・変質の恐れがあります。
 - ・ご使用時 温度 / 湿度 0 ~ 40℃ / 30 ~ 80%RH
 - ・保管 温度 / 湿度 -20 ~ 60℃ / 10 ~ 60%RH
-  ●本取扱説明書にしたがって接続してください。
間違えると接続機器が故障する原因となることがあります。

※本来の用途以外での使用により発生した損害等に関しては、
弊社は一切の責任を負わないものとします。

電波法に関する注意事項

- 本製品に使用している無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として技術基準適合証明を受けています。
従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本製品は日本国内のみで使用できます。
- 本製品の使用周波数は、2.4GHz、5GHz 帯です。
- 電波法により、5GHz 帯の W52、W53 は利用禁止です。（法令により許可されたものを除く）
- 2.4GHz 帯では、電子レンジなどの産業、科学、医療機器の他、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など、他の無線局があります。
- 本製品を使用する前に、周辺区域で他の無線局が運用されていないことを確認の上、使用を開始してください。
- 病院内や航空機内など電子機器、無線機器の使用が禁じられている区域で使用しないでください。
機器の電子回路に影響を与え本製品や他の無線局の誤作動や事故の原因となる恐れがあります。
- この機器から他の無線局に対しての電波干渉が発生した場合は速やかに使用を中止し、一方を停止するなど混信回避のための処置を行ってください。
- その他本製品の無線装置などについて不明な点などございましたら巻末の当社お問い合わせ先までご相談ください。



T D18-0018018

R 018-180084

技術基準適合証明取得済み無線モジュール

製品内容

- 開梱後、以下の内容物が揃っているか確認してください。
- 不足・破損などがございましたら、大変お手数ですがご購入店へご連絡ください。

顕微鏡アダプタ本体

アンテナ

保護キャップ

USB 接続ケーブル

WiFi 接続用 QR コード

WiFi モード使用時に読み込ませます。

リセットボタン

製品のリセットを行います。
※動作上問題がない状況では使用しません。

状態確認ランプ

以下の状態を示します。

- 消灯 — 電源 OFF の状態
- 赤点灯 — USB モード
- 緑点灯 — WiFi 有効化中
- 青点灯 — WiFi モード

モードスイッチ

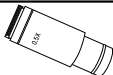
電源 ON/OFF、モード切り替えを行います。

① 電源 OFF

↔ USB モード — PC へ USB 接続する際に選択します。

📶 WiFi モード — PC やタブレットなどへ WiFi 接続する際に選択します。

φ 23.2mm 0.5 倍レンズ



AC アダプタ



φ 30mm、φ 30.5mm アタッチメント



取扱説明書兼保証書（本書）

顕微鏡への取り付け

- 本製品は下記の条件を満たす生物、金属、実体顕微鏡等に使用可能です。

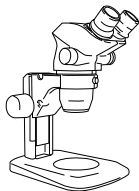
- ◇カメラポートが C マウント (M25.4mm のオスねじ)
- ◇カメラポートが JIS 鏡筒 (内径 23.2mm の直筒)
- ◇接眼レンズ挿入部の内径が 30mm、30.5mm

⚠ 注意

※接眼レンズ部の内径が対応するすべての顕微鏡での使用を保証するものではありません。
あらかじめご了承ください。

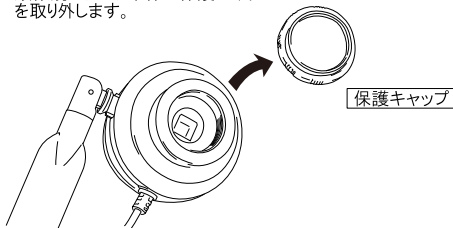
1. 顕微鏡を設置する

- 本製品を接続する顕微鏡を安定した机の上などに設置してください。



2. 保護キャップを外す

顕微鏡アダプタ本体の保護キャップを取り外します。



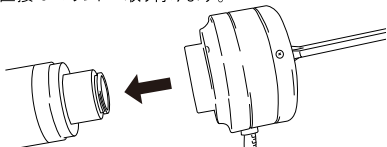
顕微鏡への取り付け（つづき）

3. 顕微鏡に取り付ける

- 顕微鏡に応じて付属品を組み合わせて取り付けを行います。

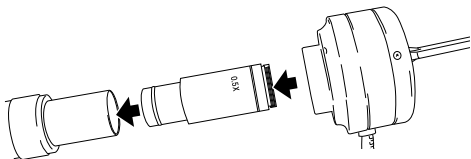
カメラポートが「C マウント」の場合

- 本製品を直接 C マウントへ取り付けます。



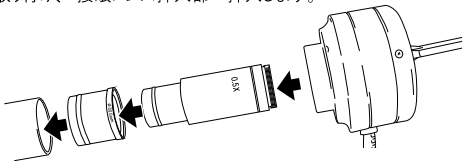
カメラポートが「JIS 鏡筒」の場合

- $\phi 23.2\text{mm}0.5$ 倍レンズを取り付けてから、JIS 鏡筒へ挿入します。



接眼レンズ挿入部の内径が 30mm、30.5mm

- $\phi 23.2\text{mm}0.5$ 倍レンズと挿入部の内径に合うアタッチメントを取り付け、接眼レンズ挿入部へ挿入します。



【Windows】使用する

- 接続するパソコンへ、ソフトウェア『Anyty microscope adapter』のインストールを行います。（初回のみ）
『Anyty microscope adapter』の動作要件については46ページの『動作要件』をご覧ください。

※以下 Windows11 によるインストール方法、使用方法を例として説明しています。ご使用環境により、画面表示など異なる場合があります。


■ソフトウェアのインストール

1. ダウンロード

- パソコンをインターネットに接続し下記からインストーラーをダウンロードします。

<https://3rrr-btob.jp/soft/>（ソフト・アプリダウンロード）

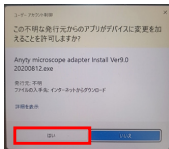
→「キーワードから探す」に WDKMC05 と入力し、検索をクリック。

→表示された「Windows 用ソフトウェア VerX.X.X」の右側の  をクリック。

→ダウンロードされた「3r-dkmc04_setup.zip」を解凍します。

2. インストールを行う

- ①解凍したフォルダ内の「Anyty microscope adapter Install VerX.X」をダブルクリックし、インストールを開始します。
- ②「ユーザーアカウント制御」が表示された場合は、「はい」をクリックします。

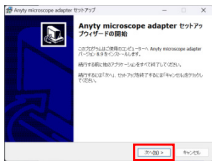
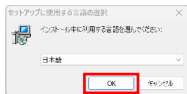


【Windows】使用する（つづき）

- ③「WindowsによってPCが保護されました」が表示された場合は「詳細情報」をクリックします。表示された「実行」をクリックします。

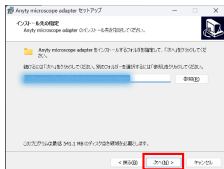


- ④「セットアップに使用する言語の選択」が表示されます。「日本語」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。



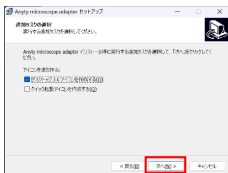
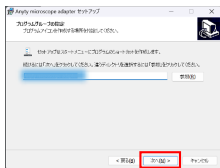
- ⑤「Anyty microscope adapter セットアップのウィザードの開始」が表示されます。「次へ」をクリックします。

- ⑥「インストール先の指定」が表示されます。特に指定しない場合は「次へ」をクリックします。



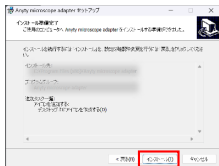
【Windows】使用する（つづき）

- ⑦「プログラムグループの指定」が表示されます。特に指定しない場合は「次へ」をクリックします。



- ⑧「追加タスクの選択」が表示されます。必要な項目にチェックを入れ「次へ」をクリックします。

- ⑨「インストール準備完了」が表示されます。「インストール」をクリックするとインストールが開始されます。



- ⑩「Anyty microscope adapter セットアップのウィザードの完了」が表示されます。「完了」をクリックしてください。以上でインストールは完了です。

【Windows】使用する（つづき）

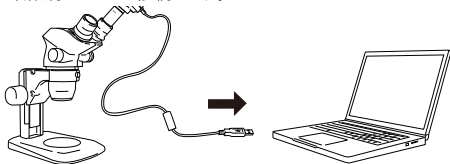
■USB 接続で使用する

1. 顕微鏡アダプタの取り付け


- ①あらかじめ観察物が鮮明に見えるように調整を行ってください。
- ②4 ページ「顕微鏡への取り付け」を参照し、顕微鏡アダプタを取り付けます。

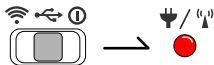
2. PC に接続する

- ソフトウェアをインストールした PC の USB 端子に、顕微鏡アダプタを接続します。



3. USB モードにする

- モードスイッチを USB モード（) の位置にします。状態確認ランプが赤色点灯します。



▲注意

※画面右下に『デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています』と表示された場合『デバイスを使用する準備ができました』と表示されるまでしばらくお待ち下さい。

以上で「USB 接続」は完了です。

→13ページ

「Anyty microscope adapter の起動」へ

【Windows】使用する（つづき）

■WiFi 接続で使用する

⚠ 注意

※WiFi 接続で使用するには、接続設定を行う PC の WiFi 規格が以下に対応している必要があります。
事前にご確認ください。

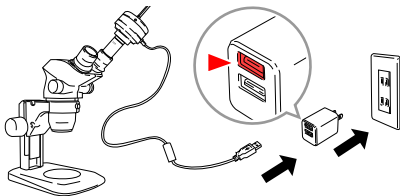
● Wi-Fi 5 (IEEE802.11ac)

1. 顕微鏡アダプタの取り付け

- ①あらかじめ観察物が鮮明に見えるように調整を行ってください。
- ②4 ページ「顕微鏡への取り付け」を参照し、顕微鏡用アダプタを取り付けます。

2. 電源を接続する

- 付属の AC アダプタ 2.4A 側（上側の端子）と接続し、AC アダプタをコンセントに差し込みます。




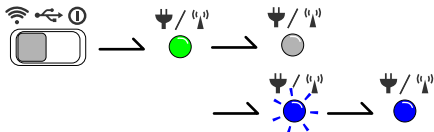
⚠ 注意

※WiFi 接続で使用する場合は、必ず付属 AC アダプタの 2.4A 側へ接続してご使用ください。
1A 側を使用した場合正常に動作しません。

【Windows】使用する（つづき）

3. WiFiモードにする

- モードスイッチをWiFiモード（)の位置にします。状態確認ランプが緑色点灯→しばらく消灯→青色点滅となり、青色点灯状態になるまで待ちます。



4. WiFi接続設定を行う

- 1.画面右下、時刻表示右側にある通知アイコンをクリックします。



- 2.「ネットワーク」をクリックします。

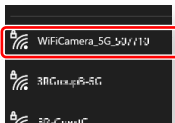


※ネットワークが表示されない場合
タブレットモードの上に表示されている
「展開」
をクリックしてください。
ネットワークが表示されます。

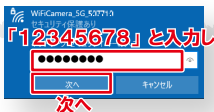


【Windows】使用する（つづき）

3. 表示される接続先リストから「WiFiCamera_5G_xxxxxx」をクリックします。

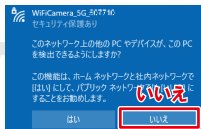


4. 「 接続 」をクリックします。



5. ネットワークセキュリティキーの入力欄に数字で「12345678」を入力し「次へ」をクリックします。

6. 「このネットワーク上の他の PC やデバイスが、この PC を検出できるようにしますか？」では、「いいえ」をクリックします。



7. 「インターネットなし、セキュリティ保護あり」と表示されれば正常に接続されています。

以上で「WiFi 接続」は完了です。

→13ページ

「Anyty microscope adapter」の起動へ

【Windows】使用する（つづき）

■「Anyty microscope adapter」の起動

1. 『Anyty microscope adapter』を起動する

デスクトップ上またはプログラム内の『Anyty microscope adapter』をクリックします。アプリが起動し、顕微鏡の映像が表示されます。

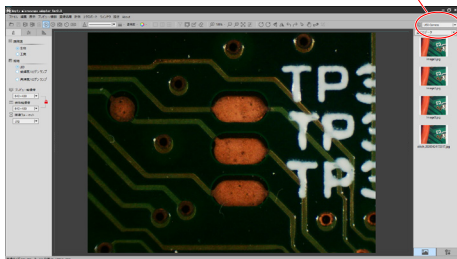
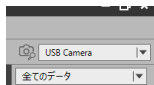


⚠ 注意

※しばらく待っても映像が表示されない場合、画面右上の表示が、以下の状態であるかを確認してください。

- USB 接続の場合 → 「USB Camera」
- WiFi 接続の場合 → 「WiFi Camera」

表示されていない場合はそれぞれをクリックして選択してください。



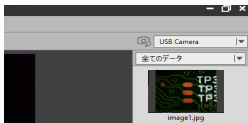
2. 焦点の調整

- 映像が鮮明に見えるように顕微鏡または、C マウントアダプタ（使用している場合）のダイヤルを回し、鮮明に観察できるように調整してください。

【Windows】基本操作

■静止画を保存する

1. 保存したい映像を表示し、焦点・位置を調整します。
2. 画面左上の『静止画撮影』をクリックすると静止画が保存されます。
3. 保存された静止画ファイルは画面右側にサムネイル表示されます。



■タイマー撮影をする

設定した回数、間隔で静止画を撮影することができます。

1. 画面左上の『タイマー撮影』をクリックします。



2. 開いたウィンドウ内で希望の

- 撮影回数
 - 撮影間隔
- を入力します。

撮影回数

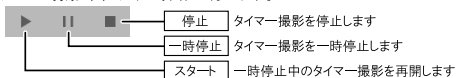
撮影間隔



3. 『スタート』を押すと設定した内容で撮影を開始します。
指定回数になると撮影を終了します。



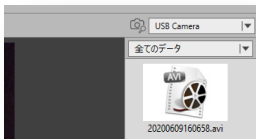
※タイマー撮影中、以下の操作が行えます。



【Windows】基本操作（つづき）

■動画を保存する

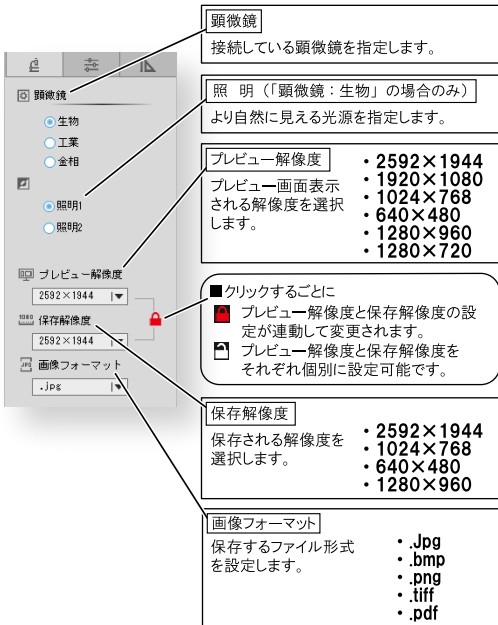
1. 保存したい映像を表示し、焦点・位置を調整します。
2. 画面左上の『録画ボタン』をクリックすると録画を開始します。
3. もう一度『録画ボタン』をクリックすると録画を終了します。
4. 保存された動画ファイルは画面右側に表示されます。



【Windows】各種設定（つづき）

■モード設定 [顕微鏡 / 照明 / 解像度]

- 画面左の『モード』をクリックすると顕微鏡、照明、プレビュー画像、保存画像の解像度、画像フォーマットの設定が行えます。



顕微鏡
接続している顕微鏡を指定します。

照明（「顕微鏡：生物」の場合のみ）
より自然に見える光源を指定します。

プレビュー解像度
プレビュー画面表示される解像度を選択します。

- 2592×1944
- 1920×1080
- 1024×768
- 640×480
- 1280×960
- 1280×720

■クリックするごとに

- 🔒 プレビュー解像度と保存解像度の設定が連動して変更されます。
- 🔓 プレビュー解像度と保存解像度をそれぞれ個別に設定可能です。

保存解像度
保存される解像度を選択します。

- 2592×1944
- 1024×768
- 640×480
- 1280×960

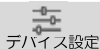
画像フォーマット
保存するファイル形式を設定します。

- .Jpg
- .bmp
- .png
- .tiff
- .pdf

【Windows】各種設定（つづき）

■デバイス設定 [明るさ / 露出 / ホワイトバランス]

- 画面左の『デバイス設定』をクリックすると、明るさ、露出、ホワイトバランス、ほか画像のパラメータを設定できます。



明るさ
明るさをスライダーで調整できます。
※露出にチェック☑が入っている場合のみ調整可能です。

露出
自動で露出を調整します。
スライダーで露出を調整できます。

区域露出
区域を指定し自動露出を行います。
 をクリック後、映像内で区域をドラッグして指定すると、その区域を基準に自動露出が実行されます。

シングル露出
 をクリックすると1回だけ自動で露出調整を行います。

ホワイトバランス
自動で露出を調整します。
R (赤色)、B (青色) それぞれをスライダーで調整できます。

区域WB
区域を指定し AWB (オートホワイトバランス) を行います。
 をクリック後、映像内で区域をドラッグして指定すると、その区域を基準に AWS 実行されます。

シングルWB
 をクリックすると1回だけ自動でホワイトバランス調整を行います。

【Windows】各種設定（つづき）

■デバイス設定（つづき） [コントラスト / 彩度 ほか]

The image shows a portion of the Windows Settings application, specifically the 'Display' settings for a monitor. The settings are as follows:

- 明るさ (Brightness): 111
- WB (White Balance): Yellow icon
- コントラスト (Contrast): 40
- 彩度 (Saturation): 50
- シャープネス (Sharpness): 50
- ガンマ (Gamma): 110
- 電源周波数 (Power Line Frequency): 60Hz
- パラメーター保存 (Save Parameters): Checked

Callouts provide instructions for each setting:

- コントラスト**
スライダーでコントラストを調整できます。
- 彩度**
スライダーで彩度を調整できます。
- シャープネス**
スライダーでシャープネスを調整できます。
- ガンマ**
スライダーでガンマを調整できます。
- 電源周波数**
蛍光灯下で画像に「帯状の横縞」が入る場合に交流電源周波数（東日本 50Hz/ 西日本 60Hz）に設定することにより低減させることができます。
- ↑**
↑ をクリックすると上記全てのパラメータをデフォルト値に戻します。また各パラメータ名をクリックすることで個別にデフォルト値に戻します。
- パラメーター保存**
☑チェックを入れると、各パラメータの変更結果が保存されます。


【Windows】各種設定（つづき）

■計測機能 [キャリブレーション]

- 計測機能を使用するには画面左の『計測ツール』をクリックし、はじめにキャリブレーションを行ってください。



キャリブレーション

1. 顕微鏡画像にスケールシートなど基準となるものを映し出します。
2.  キャリブレーションをクリックします。校正表 (下) が表示されます。
3. 画像内で基準となる目盛りに合わせて、始点と終点を順にクリックします。校正表に始点 - 終点間の「画素数」が自動的に入力されます。
4. 「実際長」始点 - 終点間の長さを入力し、単位を指定します。
5. 『名称』に識別用の名称を入力します。
6. 『追加説明』には必要に応じて校正内容の説明を入力することができます。
7. 『追加』ボタンをクリックして登録します。
8. 追加された行をクリックして『適用』をクリックするとそれを基準として以降の計測を行います。



【Windows】各種設定（つづき）


■計測機能（つづき） [計測ツール]

計測ツール

計測したいアイコンを指定し、直線距離、円、角度などを計測します。

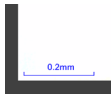
スケールバー


映像内に「縮尺：長さの単位」を挿入します。


1.  をクリックすると以下のウィンドウが表示されます。



2. 「長さ」「目盛線の幅」「単位」をそれぞれ入力、選択し「確認」をクリックします。

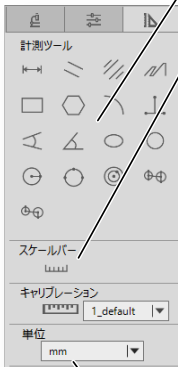


3. 表示されたスケールバーで問題なければ  をクリックして確定します。

※スケールバーはツールバーの  選択をクリックし、スケールバーをドラッグして位置を変更できます。

単位

計測ツール使用時の表示単位を変更します。



【Windows】その他の機能

■ ツールバーの機能



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- ① 保存済みの画像を読み込みます
- ② 撮影済みの画像を指定した場所に保存し直します。
- ③ 表示している画像を計測結果を含め、レポートとして Excel 形式でエクスポートします。
- ④ 表示している画像を計測結果を含め、レポートとして Word 形式でエクスポートします。
- ⑤ 表示している撮影済みの画像を削除します。
- ⑥ 撮影済み画像を表示している場合に、現在の映像表示に切り替えます。
- ⑦ 現在の映像を表示中、映像を一時停止します。
- ⑧ 静止画を撮影し保存を行います。
- ⑨ タイマー撮影を実行します。
- ⑩ 動画を撮影し保存を行います。



⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

- ⑪ アプリ内で描画される文字のフォントを設定します。
- ⑫ アプリ内で描画されるオブジェクトの線種を設定します。
- ⑬ アプリ内で描画されるオブジェクトの線の幅を設定します。
- ⑭ アプリ内で描画されるオブジェクトの透明度を設定します。
- ⑮ アプリ内で描画されるオブジェクトの色を設定します。

【Windows】 その他の機能（つづき）



①⑥ ①⑦ ①⑧ ①⑨ ②⑩ ②⑪ ②⑫

①⑥ (保存された画像を表示中) 画像を 1 画面表示します。

①⑦ (保存された画像を表示中) 画像を 2 画面表示します。

①⑧ (保存された画像を表示中) 画像を 4 画面表示します。

【表示する画像を指定するには】

表示したい枠内をクリックして選択後（番号が赤色になります）、右側のサムネイル画面の画像をダブルクリックするとその画像が指定枠に表示されます。

①⑨ 選択中の画像に対して特殊効果（階調の反転、コントラスト補正、グレースケール）を設定します。

②⑩ 画像内に図形を描画します。

②⑪ 画像内に文字、画像の挿入、画面キャプチャ、カットを行います。

②⑫ 挿入した文字、画像などを削除します。



②⑬ ②⑭ ②⑮ ②⑯ ②⑰ ②⑱

②⑬②⑭②⑮ 選択中の画像の拡大 / 縮小、拡大率によるサイズ指定を行います。

②⑯ 選択中の画像をピクセル等倍表示します。

②⑰ 選択中の画像を適切なサイズで表示します。

②⑱ 選択中の画像をフルスクリーン表示します。
「ESC キー」を押すと元の表示に戻ります。

【Windows】 その他の機能（つづき）



⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘

- ⑲ 表示中の画像を左へ 90° 回転します。
- ⑳ 表示中の画像を右へ 90° 回転します。
- ㉑ 表示中の画像を上下反転します。
- ㉒ 表示中の画像を左右反転します。
- ㉓ 直前の操作を取り消します。
- ㉔ 直前の操作をやり直します。
- ㉕ 操作するオブジェクトを選択します。
- ㉖ オブジェクトをドラッグして移動します。
- ㉗ 選択中のオブジェクトを削除します。
- ㉘ (保存された画像を表示中) 画像のトリミングを行います。

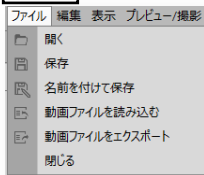
【Windows】その他の機能（つづき）

■メニューバーについて

ファイル 編集 表示 プレビュー/撮影 画像処理 計測 エクスポート ウィンドウ 設定 About

アプリ最上段の「メニューバー」の各項目には、前項で紹介した機能と同じアイコンのものが多く、それらは全く同じ機能を有します。そのためここでは「メニューバーのみにある機能」を説明します。

ファイル



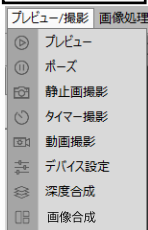
パラメータファイルを読み込む

保存済みのパラメータファイルを読み込み、有効にします。

パラメータファイルを保存

現在のパラメータをパラメータファイルとして保存します。

プレビュー / 撮影



深度合成 ※64ビットOSのみ

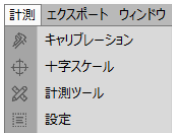
複数の画像をデジタル画像処理によって合成し、擬似的に深い被写界深度の画像を作成します。

画像合成 ※64ビットOSのみ

2枚以上の画像を結合して1枚の画像ファイルを作成します。

【Windows】その他の機能（つづき）

計測



十字スケール

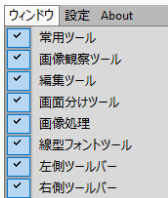
画像内に「十字スケール」を表示します。

⊕ をクリックして表示 / 非表示を設定し、スケールの「フォント設定」「透明度」「色設定」が行えます。

設定

計測の際描画する項目を指定します。

ウィンドウ



表示するツール、ツールバーを設定します。

設定



言語

表示する言語を設定します。

保存先設定

画像、PDF、その他ファイルの保存先を指定します。

About



バージョンなどの本アプリの情報を表示します。

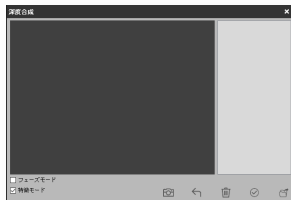
【Windows】その他の機能（つづき）




■深度合成 ※64ビット OS のみ

フォーカス位置の異なる複数の画像をデジタル画像処理にて合成し、擬似的に深い被写界深度の画像を作成する機能です。

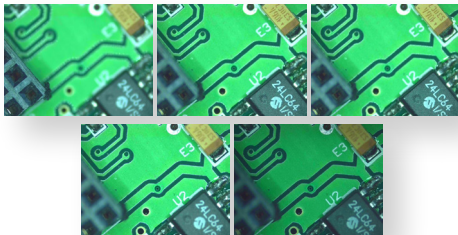
【手順】

1. メニューバー「プレビュー / 撮影」→「深度合成」をクリックします。
深度合成のウィンドウが開きます。



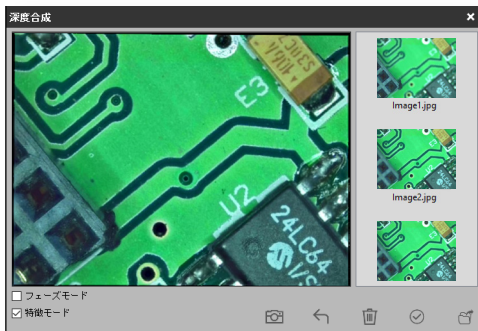
2. 「撮影ボタン  」をクリックし、画像を撮影します。
撮影した画像は、ウィンドウ右側にサムネイル表示されます。
3. 顕微鏡側でフォーカス位置をずらし、撮影を繰り返します。
直前の撮影を取り消したい場合は「取り消し  」をクリックしてください。
また「全削除  」をクリックすると撮影画像全てが削除され、ウィンドウ自体も閉じられます。

※ここでは例としてフォーカス位置の異なる下記の5枚の画像を撮影。





【Windows】その他の機能（つづき）

4. 撮影することにより現在までの画像を深度合成した内容が表示されます。



⚠ 注意

※X-Y ステージなどを用いて、同じ部分が中心に来るように調整を行ってください。
中心位置がずれていると深度合成が正しく行われません。

5. 深度合成結果に問題なければ「実行 」をクリックしてください。保存され、アプリの「右側ツールバー」にサムネイルが表示されます。また合成の際に撮影した画像を保存する場合には、その画像のサムネイルをクリックして選択し「エクスポート 」をクリックしてください。深度合成結果と同様に保存され「右側ツールバー」に表示されます。
6. 作業を終了する場合は、ウィンドウ右上の「×」をクリックして深度合成ウィンドウを閉じます。

⚠ 注意

※良好な結果が得られない場合、ウィンドウ左下「フェーズモード」にチェックを入れ、再度深度合成をお試しください。
(別のアルゴリズムで合成を実施します。)

【Windows】 その他の機能（つづき）




■ 画像合成 ※64ビット OS のみ

2枚以上の画像を結合して1枚の画像ファイルを作成します。

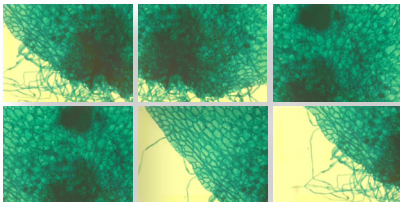
【手順】

1. メニューバー「プレビュー / 撮影」→「画像合成」をクリックします。
画像合成のウィンドウが開きます。



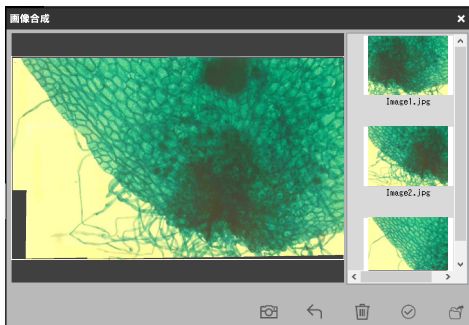
2. 「撮影ボタン  」をクリックし、画像を撮影します。
撮影した画像は、ウィンドウ右側にサムネイル表示されます。
3. 対象物の位置をずらし、撮影を繰り返し行います。
直前の撮影を取り消したい場合は「取り消し  」をクリックしてください。
また「全削除  」をクリックすると撮影画像全てが削除され、ウィンドウ自体も閉じられます。



※ここでは例として X-Y 位置をずらした下記の6枚の画像を撮影。



【Windows】 その他の機能（つづき）

4. 撮影することに現在までの画像を合成した内容が表示されます。



5. 画像合成結果に問題なければ「実行 」をクリックしてください。保存され、アプリの「右側ツールバー」にサムネイルが表示されます。また合成の際に撮影した画像を保存する場合には、その画像のサムネイルをクリックして選択し「エクスポート 」をクリックしてください。画像合成結果と同様に保存され「右側ツールバー」に表示されます。
6. 作業を終了する場合は、ウィンドウ右上の「×」をクリックして画像合成ウィンドウを閉じます。

注意

※撮影画像に同じ要素（重なる部分）が無いと画像合成が正しく行われません。

【iOS/Android 端末】での使用

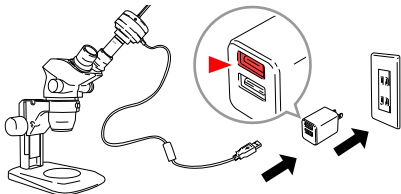
■WiFi モードで起動する

1. 顕微鏡アダプタの取り付け

1. あらかじめ観察物が鮮明に見えるように調整を行ってください。
2. 4ページ「顕微鏡への取り付け」を参照し、顕微鏡用アダプタを取り付けます。

2. 電源を接続する


- 付属の AC アダプタ 2.4A 側（上側の端子）と接続し、AC アダプタをコンセントに差し込みます。

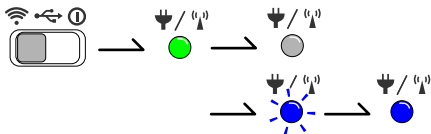


⚠ 注意

※WiFi 接続で使用する場合は、必ず付属 AC アダプタの「2.4A 側」へ接続してご使用ください。
「1A 側」へ接続した場合動作が不安定になるおそれがあります。

3. WiFi モードにする

- モードスイッチを WiFi モード（) の位置にします。状態確認ランプが緑色点灯→しばらく消灯→青色点滅となり、モード変更から約 30 秒後、青色点灯状態になります。

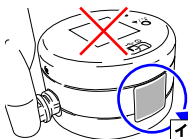


【iOS/Android 端末】での使用（つづき）

■アプリ「Anyty WiFi Adapter Plus」のインストール（初回のみ）

1. 製品側面の「QRコード」を読み込む

1. 使用する iOS、Android 端末の内蔵カメラで、製品側面の「インストール用 QR コード」を読み込ませます。



⚠ 注意

※上面の「QRコード」ではありません。
これは WiFi 接続時に使用します。

インストール用 QR コード

2. 表示されたリンク先をタップします。
アプリストアへのリンクページが表示されます。

2. アプリストアを選択しインストールする

1. ご使用端末に合ったアプリストアを選択、タップします。



iPhone,iPad
の場合

Andorid
の場合

2. 画面の指示に従いインストール進め、完了させてください。

【iOS/Android 端末】での使用（つづき）

お知らせ

※以下 Android 端末を例として手順を進めます。
Android のバージョンや iOS 端末では、表示される内容、項目、操作方法など、一部説明と異なる場合があります。

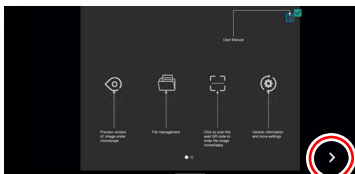
■「Anyty WiFi Adapter Plus」を起動し接続する

1. アプリを起動する

1. アプリアイコンをタップして起動します。



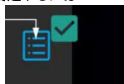
2. 画面右下の▶（または「NEXT」）をタップします。



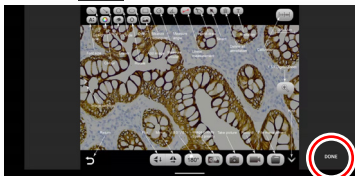
または
「NEXT」

起動時にこの画面（ガイドライン）を表示しない設定するには

1. 右上のをタップし、チェックを外す。
2. 右下の▶をタップする。



3. 画面右下の**DONE**をクリックします。



【iOS/Android 端末】で使用（つづき）


初回起動時に表示されるメッセージについて

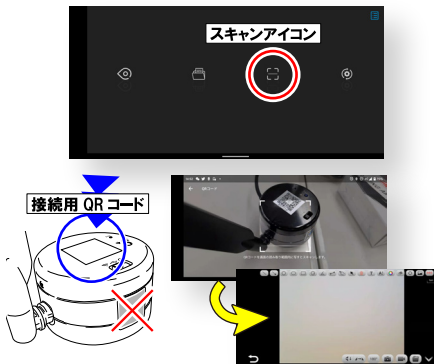
※初回アプリ起動時、以下の項目に対して「権限許可」の確認メッセージが表示されます。

・写真、メディア、ファイル ・位置情報 ・写真と動画の撮影 など
その際必ず「許可」「アプリの使用時」などを選択の上、操作を進めてください。

誤って「許可しない」をタップしてしまった場合、機能の一部が動作しませんが、端末設定画面のアプリの設定で改めて「権限」を許可してください。



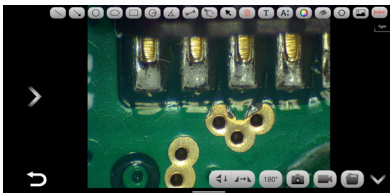
4. 「スキャン」アイコンをタップし「製品上面のQRコード」を読み込ませます。自動的に製品本体とWiFiで接続されます。



【iOS/Android 端末】基本操作

● 焦点の調整

映像が鮮明に見えるように顕微鏡または、C マウントアダプタ（使用している場合）のダイヤルを回し、鮮明に観察できるように調整してください。



■ 静止画を保存する

1. 保存したい映像を表示し、焦点・位置を調整します。
2. 画面右下の『静止画撮影』アイコンをタップすると静止画が保存されます。



■ 動画を保存する

1. 保存したい映像を表示し、焦点・位置を調整します。
2. 画面右下の『動画撮影』アイコンをタップすると録画を開始します。録画中はアイコンが赤色点滅します。



録画中点滅

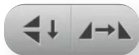
3. もう一度『動画撮影』アイコンをタップすると録画を終了します。

【iOS/Android 端末】基本操作（つづき）

■映像を反転する

●表示映像の上下、左右反転を行えます。

・上下反転： をタップ。



・左右反転： をタップ。



■映像を回転する

●タップするたびに表示映像が180度回転します。



180°

■保存した静止画、動画を確認する

1. 画面右下の『フォルダ』アイコンタップします。



2. 確認する対象を選択します。

・静止画 → 画像 (Photo)

・動画 → 動画 (Video)

をタップしてください。

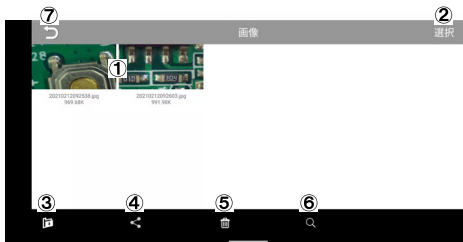


画像一覧がサムネイルとして表示されます。



【iOS/Android 端末】基本操作（つづき）

●静止画、動画の確認画面



①保存された静止画・動画

サムネイル表示されます。タップすると拡大表示されます。
※動画の場合、拡大画面で再生・停止が行えます。

②選択 (Select)

複数のファイルに対して、操作を行うときにタップします。
選択したいサムネイルの右上のチャックをタップして選択し、『エクスポート』『共有』『削除』をタップすると実行されます。

③エクスポート

選択画像を端末のアルバムにエクスポートします。

④共有

選択画像を他のアプリと共有します。

⑤削除

選択画像を削除します。

⑥検索

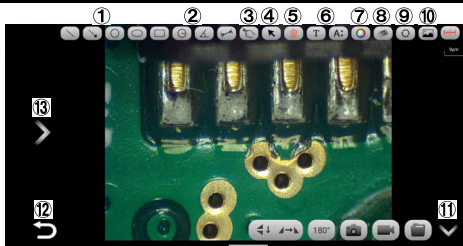
ファイル名を基に画像の検索を行います。

⑦戻る

『映像表示画面』に戻ります。

【iOS/Android 端末】その他機能

■映像表示画面のアイコンについて



ヒント

※上部のアイコンの一部が非表示な場合、横方向にスワイプすると表示されます。

①描画

線、図形を描画します。
描画するには、映像上の任意の地点をドラッグします。



直線



矢印線



円



楕円

②計測*

指定した図形、角度、長さを計測、描画します。
計測するには、映像上の任意の地点をドラッグします。



四角形成分



円成分



2辺に
挟まれた角度



2点間距離

⚠注意

※計測を行う場合必ず事前に「キャリブレーション (42 ページ)」を行ってください。実施前には正しい計測結果を表示できません。

③フリー描画



ドラッグして自由に線を描画します。

【iOS/Android 端末】その他機能（つづき）

オブジェクトとは

- オブジェクトとは映像上に描画した「図形」「計測結果」「テキスト」などを差します。

④ 選択



操作対象とするオブジェクトを選択します。
ドラッグした範囲にあるオブジェクトが選択（赤枠で囲まれた）状態となります。
選択状態ではタップし、ドラッグすることでオブジェクトを移動させたり、削除することができます。

⑤ 削除



選択状態のオブジェクトを削除します。

⑥ テキスト編集

テキストの「入力」「フォントサイズ指定」が行えます。



テキストを入力します。
タップするとテキストボックスが作成されますので、任意の文字を入力確定後、テキストが描画されます。

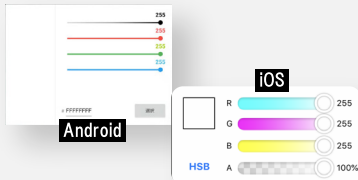


入力するテキストのフォントサイズを指定します。
(1 ~ 100 の範囲)

⑦ カラー指定



描画するオブジェクトの色を指定します。
オブジェクトを描画後、このアイコンをタップし、4つのスライダーで色を設定します。



【iOS/Android 端末】その他機能（つづき）

⑧消しゴム



オブジェクトの一部を消去することができます。
対象のオブジェクト上を消しゴムを使用するようにドラッグしてください。
ドラッグした部分が消去されます。

⑨回転



オブジェクトを回転させます。
2本の指を使用し片方の指でオブジェクトをタップ&ホールド、もう片方でドラッグし回転させます。


⑩画像追加



画像をオブジェクトとして追加します。
タップ後表示される画像一覧から、画像を選択し、
右下の「Apply」をタップしてください。
選択した画像が追加されます。

⑪アイコン非表示



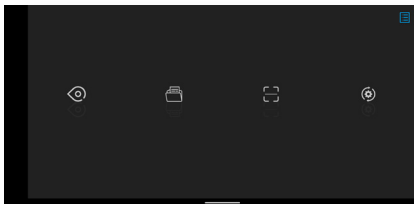
各種アイコンを非表示にします。
再度表示するには  をタップしてください。

⑫戻る



トップ画面に戻ります。（以下で説明）

■トップ画面について



【iOS/Android 端末】その他機能（つづき）

- 👁️ 『映像表示画面』に移ります。（→37 ページ参照）
- 🖨️ 保存した静止画、動画を確認します。（→36 ページ参照）
- 📱 接続用 QR コードをスキャンし、顕微鏡アダプタに接続します。（→33 ページ参照）
- ⚙️ 「デバイスへの画像保存（Android のみ）」
「カメラの選択（iOS のみ）」
「ガイダンスの表示」「バージョンの確認」が行えます。
- 📖 ガイダンス（アプリ起動時の説明画面）を表示します。

13 各種設定

- ➡️ 「顕微鏡種類」「解像度」「各種パラメータ」の設定を指定、変更出来ます。（以下で説明）

【iOS/Android 端末】各種設定

■ 顕微鏡種類 / (照明) / 解像度の設定

1. 「解像度 (Resolution) 解像度」タブをタップします。
2. 設定を変更する項目をタップします。

The screenshot shows the 'Resolution' settings screen with the following sections and callouts:

- 顕微鏡種類 (Microscope Types)**: 接続している顕微鏡を指定します。
- 照明 (Light Source) ※生物顕微鏡のみ**: より自然に見える光源を指定します。
- プレビュー解像度 (Resolution)**: プレビュー画面表示される解像度を選択します。

| 解像度 | 選択状態 |
|-----------|----------------------------------|
| 640x480 | <input type="radio"/> |
| 1024x768 | <input type="radio"/> |
| 1280x720 | <input type="radio"/> |
| 1280x960 | <input type="radio"/> |
| 1920x1080 | <input type="radio"/> |
| 2592x1944 | <input checked="" type="radio"/> |

3. 完了するには **◀** をタップしてください。
その後パラメータを設定する場合は次ページへ進みます。

【iOS/Android 端末】各種設定

■各パラメーターの設定

1. 「パラメーター (Parameters) パラメーター」タブをタップします。
2. 設定を変更する項目をタップします。

The screenshot shows the 'Parameters' settings screen with the following items and callouts:

- 明るさ (Gain)**: 明るさをスライダーで調整できます。
- オート露出 (Auto Exposure)**:
 - 露出を自動調整します。
 - スライダーで露出を調整できます。
- オートホワイトバランス (Auto WhiteBalance)**:
 - ホワイトバランスを自動調整します。
 - R (赤色)、B (青色) それぞれをスライダーで調整できます。
- コントラスト (Contrast)**: スライダーでコントラストを調整できます。
- 彩度 (Saturation)**: スライダーで彩度を調整できます。
- シャープネス (Sharpness)**: スライダーでシャープネスを調整できます。
- 電源周波数 (Power Line Frequency)**: 蛍光灯下で「帯状の横縞」が入る場合に電源周波数 (東日本 50Hz/ 西日本 60Hz) を設定することで低減させることができます。
- デフォルト (Reset to Default)**: クリックすると上記全てのパラメータをデフォルト値に戻します。

3. 完了するには **◀** をタップしてください。
その後パラメータを設定する場合は次ページへ進みます。

【iOS/Android 端末】各種設定（つづき）

■キャリブレーション

- 計測機能を使用するには、事前に画面右上の『キャリブレーション』アイコンをタップし、キャリブレーションを行ってください
タップすると、現在保存されている「キャリブレーションデータ」が一覧表示されます。



初期データについて

- サンプルデータが登録されています。不要の場合削除してください。

| 名称 | 長さ | 単位 | ピクセル | 選択 |
|-----------|------|----|------|-------------------------------------|
| CX23_4X | 1000 | μm | 903 | |
| CX23_10X | 1000 | μm | 2270 | |
| CX23_100X | 100 | μm | 2371 | <input checked="" type="checkbox"/> |

+ 編集 - ← ↻

- +** 登録
キャリブレーションデータを登録します。
→ 登録方法は次ページ参照
- 編集**
保存されたキャリブレーションデータを編集します。
→ 各項目は次ページ参照
- 削除
キャリブレーションデータを削除します。
- ←** 選択
使用するキャリブレーションデータを選択します。
選択したいデータをタップして『選択』アイコンをタップします。
が表示され、以降これを基準として算出します。
- ↻** 戻る
キャリブレーション画面を閉じます。

【iOS/Android 端末】各種設定（つづき）

■キャリブレーションデータの登録

名称 _____

長さ _____

単位 **mm**

ピクセル _____

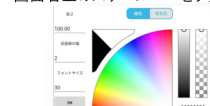
小数 **0**

OK 取り消し

1. 顕微鏡画像にスケールシートなど基準となるものを映し出します。
2. 『名称 (Name)』 に識別用の名称を入力します。(使用顕微鏡名、レンズ倍率など)
3. 映像内で長さが明確で基準とする始点と終点をドラッグします。
ピクセル数 (Pixels) が自動で入力されます。
4. 『長さ (Length)』 をタップし、始点 - 終点間の実際の長さを入力し、『単位 (Unit)』 をタップし単位を選択します。
5. 『小数 (Decimals)』 をタップし、小数点以下の桁数を選択します。
6. 『OK』 ボタンをクリックして登録します。
7. 「1.~6.」で追加したキャリブレーションデータを使用するには、追加された行をタップして『選択』アイコンをタップします。
が表示され、以降これを基準として計測値が算出されます。

■スケールバーの設定

- スケールバーの長さ、色などを変更できます。
画面右上のスケールバーをタップします。



Android

1. 「長さ (Length)」を入力します。
2. 「目盛線の幅 (Width)」を入力します (1~8 の範囲)。
3. 「フォントサイズ」を入力します。
4. 「線色 (Line) **選択**」をタップし、スケールバーの色を指定します。カラーピッカー、透過バーをタップして調整します。
5. 同様「背景色 (Background) **背景色**」をタップし、ゲージの背景色を指定します。
6. 「OK(Close)」をタップし色を確定します。

お手入れ・保管・廃棄方法

お手入れ

⚠ 注意

- ※必ずUSBケーブルを抜いてからお手入れを行ってください。
故障のおそれがあります。
- ※水洗いは行えません。水をかけたり、水に浸したりしないでください。
故障や感電のおそれがあります。
- ※シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
変色・変形・変質のおそれがあります。

汚れた場合柔らかい布で乾拭きを行ってください。
汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き、乾いた柔らかい布で拭き上げてください。

⚠ 注意

- ※センサー部は手で触れたりお手入れはしないでください。
正常に画像が表示されなくなる恐れがあります。

保 管

- 使用後は保護キャップを取り付け、直射日光が当たらず、湿気の少ない風通しの良い暗所で保管してください。

廃 棄

- お住まいの自治体指定の手順に従い廃棄してください。

故障かな？と思ったら

■Windows

| 症 状 | 考えられる原因 | 確認していただきたいこと・お試しください |
|------------------------|-----------------------|---|
| 映像が表示されない ※USB 接続時 | ●USBケーブルが正しく接続されていない | ●パソコンのUSBポートに正しく接続されているか確認してください。 |
| | ●USBモードになってない | ●パソコンとの接続後、モードスイッチを「USBモード」に設定してください。 |
| | ●「USB camera」になっていない | ●ソフトウェア画面右上で「USB camera」を選択してください。 |
| 映像が表示されない ※WiFi 接続時 | ●WiFi接続されていない | ●モードスイッチを「WiFiモード」にし約30秒経過すると状態確認ランプが「青色点灯」します。その後PCのWiFi接続設定から「WiFiCamera_5G_xxxxxx」に接続してください。 |
| | ●「WiFi camera」になっていない | ●ソフトウェア画面右上で「WiFi camera」を選択してください。 |
| WiFi接続先が表示されない | ●PCが「Wi-Fi 5」に対応していない | ●お使いのPCが「Wi-Fi 5 (IEEE802.11ac)」に対応しているか確認してください。 |

故障かな？と思ったら（つづき）

| 症 状 | 考えられる原因 | 確認していただきたいこと・お試しいただきたいこと |
|----------------|---------------------------------|---|
| 深度合成が行えない | ●使用しているPCのWindowsが32ビットOSモデルである | ●64ビットOSのパソコンでご使用ください。 |
| 画像合成が行えない | ●使用しているPCのWindowsが32ビットOSモデルである | ●64ビットOSのパソコンでご使用ください。 |
| 深度合成が正しく処理されない | ●画像の中心位置がずれている | ●合成しようとする画像の中心位置がずれていると、深度合成がうまく行われません。X-Yステージなどを用いて、同じ部分が中心に来るように調整を行ってください。 |
| 画像合成が正しく処理されない | ●合成しようとする画像に共通部分が少ない | ●合成しようとする画像に共通する部分が少ないと、画像合成がうまく行われません。画像の共通部分（重なる部分）を多めにしてお試しください。 |

■iOS/Android

| 症 状 | 考えられる原因 | 確認していただきたいこと・お試しいただきたいこと |
|--------------|------------------------|---|
| 映像が表示されない | ●接続用QRコードをスキャンしていない。 | ●モードスイッチを「WiFiモード」にし約30秒経過すると状態確認ランプが「青色点灯」します。その後アプリを起動し接続用QRコードをスキャンしてください。 |
| QRコードが読み込めない | ●インストール用QRコードをスキャンしている | ●接続する際は製品本体上面にある「接続用QRコード」をスキャンしてください。 |

■全般

| 症 状 | 考えられる原因 | 確認していただきたいこと・お試しいただきたいこと |
|---------------------|----------|---|
| WiFiモードでランプが緑色に点灯する | ●製品の動作異常 | ●製品上面のリセット（RST）スイッチの穴にクリップの先端などを10秒以上差し込んで下さい。製品が初期化されます。 |
| 認識されない映像が出ない | ●製品の動作異常 | ●製品上面のリセット（RST）スイッチの穴にクリップの先端などを10秒以上差し込んで下さい。製品が初期化されます。 |

■上記をお試しいただいても改善されない場合は、当社サポートへご相談ください。

動作要件

Windows

| | |
|----------|--|
| バージョン | Windows11/10/8.1/(32bit/64bit) ^{※1} |
| CPU | 第2世代Intel coreプロセッサ—3.0GHz相当以上 |
| メモリ | 4GB以上 |
| 保存領域 | 10GB以上の連続した空き領域 |
| 表示領域 | XGA(1024×768)以上 |
| グラフィック機能 | 24bitカラー以上 |
| Wi-Fi | IEEE802.11n/ac ^{※2} Wi-Fi接続利用の場合 |

※1 32bit では「深度合成」「画像合成」を行えません。

※2 接続には「IEEE802.11ac」を使用します。

Android

| | |
|-------|------------------------------|
| バージョン | Android5.0以降 |
| CPU | dual-core 1.7GHz 相当以上 |
| メモリ | 1GB以上 |
| 保存領域 | 8GB以上 |
| Wi-Fi | IEEE802.11n/ac ^{※3} |

※3 接続には「IEEE802.11ac」を使用します。

iOS/iPadOS

| | |
|-------|---|
| バージョン | iOS/iPadOS 11.0以降 |
| CPU | iPhone X/ 8/ 8 Plus/7/ 7 Plus/6s/6s Plus/ 6/6 Plus iPad Pro (12.9-inch 2nd generation)/(12.9-inch 1stgeneration)/(10.5-inch)/(9.7-inch) iPad Air 2/iPad mini 4 |

製品仕様

| | |
|--------------------|---|
| 型 式 | 3R-WDKMC05 |
| カ メ ラ | 1/1.8 型 CMOS |
| カメラ解像度(約) | 800 万画素 |
| 静止画フォーマット / 解像度 | JPG/BMP/PNG/TIFF/PDF 3840×2160/2592×1944/1920×1080/1024×768 /640×480 |
| 動画フォーマット / 解像度 | AVI(30fps) 1920×1080/1024×768/640×480 |
| 光 源 | なし。環境光による |
| ホワイトバランス | 自動/手動 |
| 露 出 | 自動/手動 |
| 接 続 方 式 | USB2.0準拠(USB-A)、WiFi |
| マ ウ ン ト | Cマウント |
| 電 源 方 式 | USB接続時:USB-A DC5V/500mA) ※PCより給電 Wi-Fi接続時:USB-A DC5V/1,500mA) |
| 無 線 規 格 | IEEE802.11n(2.4GHz):2.400~2.4835GHz IEEE802.11n/ac(5GHz):5.180~5.825GHz ※1 |
| USBケーブル長(約) | 1.7m |
| 重 量 (約) | 226g ※0.5倍レンズ、各アタッチメント含まず |
| 寸 法 (約) | Φ63mm×162mm ※アンテナを立てた状態 |
| 使用温度/湿度 | 0~40°C/30~80%RH |
| 保管温度/湿度 | -20~60°C/10~60%RH |

※1 接続には「IEEE802.11ac」を使用。

※仕様・外観などは改善のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

スリーアール保証規定

本保証規定はスリーアールソリューション株式会社（以下弊社）が製造した製品（以下製品）が故障した場合の保証内容について明記したものです。弊社は弊社取扱の製品の故障についてこの保証規定に基づいて修理・交換を致します。

■ 保証期間

製品の保証期間はご購入日製品の保証書、または取扱説明書を参照ください。保証期間の開始日はご購入日からと致します。

■ 保証範囲

保証期間中に付属の取扱説明書に基づいた正常な環境、使用方法にて故障した場合、弊社は無償にて製品の修理、交換を行います。また製品は日本国内にて販売しているものであり、保証は日本国内においてのみ有効です。海外への保守・サポート等の対応、修理品の海外発送等は一切致しません。保証期間内であっても以下の事項に該当する場合は、保証規定の対象外となります。

- 1) レシート等ご購入上げ日が確認できるものを弊社に提示出来ない場合、また保証書のある製品において保証書が提示されない場合
- 2) オプション等の個人購入品などを含む中古販売によって入手した製品
- 3) お買い上げ後の移動、輸送時の落下や衝撃などにより生じたもの
- 4) お取扱時の不注意や誤った使用方法による故障
- 5) お客様にて分解、改造を行った製品、また弊社以外で修理、分解を行った事のある製品
- 6) お買い上げ製品に接続した機器やケーブルなどによる故障、また付属品・オプションなどの専用品以外の機器を使用したことによる故障
- 7) 取扱説明書等で示された使用環境、使用条件を満たさない状態での使用、過度の連続使用など環境による故障
- 8) 取扱説明書等の注意事項、警告事項が守られない状態で起こった使用方法による故障
- 9) 火災、地震、水害などの天災による故障、また戦争、騒乱などによるもの

■ 免責事項

- 1) 部品の経年劣化による故障や付属品の交換等はこの保証は適用されません。
- 2) 製品の使用によって生じた直接、間接的な損害などについて、弊社は製品の故障・障害によるものかに限らず一切の責任を負いません。
- 3) 製品は将来発表されたハードウェア・ソフトウェアとの互換性は保証致しません。
- 4) 通常使用時、故障時、また修理時における製品内部等に保存されたデータの消失、破壊について弊社は一切の責任を負いません。データにつきましてはお客様の責任においてのバックアップ等をお願い致します。
- 5) 製品の中心は寿命、使用時間などが設定された部品が使用されている事があります。これは使用頻度や使用環境などによって実際の寿命、交換時期とは前後します。場合によっては保証期間内であっても部品交換が有償となる事があります。

■ 注意事項

- 1) 弊社が日本国内において正規に販売、取扱したものに関してのみ保証は有効です。並行輸入品や弊社が正規に取扱していない商品について弊社は修理、交換は致しません。
- 2) 弊社製品につきまして出張、訪問による修理やサービスは行っておりません。
- 3) お預かり時等、輸送時による破壊・紛失等につきまして弊社は責任を負いません。
- 4) 修理、交換が判断されると弊社が判断する場合、同等品、後継品への交換にて対応することがあります。
- 5) 修理、交換品の保証期間につきましてはご購入上げ時の保証の期限、もしくは修理、交換品の発送日の3ヵ月後、いずれか長いものとなります。
- 6) この保証規約は予告無く変更されることがあります。
- 7) 本規定は上記の規定に基づき修理、交換対応をするもので、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証書

| | | |
|--------|-------------|----------------------------------|
| 型式 | 3R-WDKMC05 | S/N |
| お買い上げ日 | 年 月 日 | (※未記入の場合は別途、精細書もしくは明細書が必要となります。) |
| 保証期間 | ご購入日から 1 年間 | |
| 販売店名 | | |
| ご住所 | | |
| お名前 | お電話番号 | |

Made in China



スリーアールソリューション株式会社
〒812-0008 福岡市博多区東光2丁目8-30 高光第一ビル2階
TEL:092-260-3031 FAX:092-441-4077
MAIL:info@3rrr-hd.jp URL:https://3rrr-btob.jp/

